

# 和歌山南ロータリークラブ週報



WAKAYAMA SOUTH R.C. CLUB WEEKLY

事務所 〒640-8227 和歌山市西汀丁26番地  
和歌山県経済センター2F  
TEL(073)423-9031 FAX(073)423-9021  
http://www.snet.ne.jp/wsouthrc/  
例会場 〒640-8227 和歌山市西高松1-7-87  
ウェルサンピア和歌山 TEL(073)436-8111  
例会日 毎週金曜日 12時30分～13時30分

2004～2005年度  
国際ロータリー・テーマ



ロータリーを祝おう

会長 山田 和毅 幹事 堤 昌男  
副会長 井口 廣昭 会長エレクト 南方 康治  
会報委員長 野上 成樹  
副委員長 堀 井 明 吉田 永志  
委員 山本 善昭 西 満 進 宮本 典亮  
西川 秀紀 藤田 武弘 岩崎 光廣

## 本日のプログラム

2004年 7月23日(金) No.2080  
第2135回 例会  
○ ソング「海」  
○ 卓話「障害者への地域生活支援」  
社会福祉法人一麦会  
麦の郷理事 伊藤 静美 様

## 次週のプログラム

8月 1日(日)  
○ ソング「君が代」・「奉仕の理想」  
○ 納涼家族会  
有田市 橋屋  
例会開始午後5時半～

## 会長報告

本日は中島治一郎ガバナーをお迎えしての公式訪問でございます。クラブとして協議会を重ねてまいり、クラブフォーラムも終え、今日のこの行事に望む訳でございますが、まず多数の会員の出席を賜りました事御礼と感謝を申し上げます。



例会に先立ち中島ガバナーと会長幹事懇談会が開かれ色々アドバイスを頂き有意義な時間をもつことができました事を御報告申し上げます。

加納ガバナー補佐、高寺地区代表幹事様にはお忙しい中御出席をいただき、また日頃何かと御指導を賜ってまずことを合わせて御礼を申し上げます。

公式訪問は、大事な年度でもありガバナーご自身が区内の全てのクラブを訪問したいということで、例年より早く今日が2640地区での最初になります。例会で卓話

を頂いたあと、従来のクラブ協議会形式でなく、ガバナーはクラブ会員全員と話し合いたいとの希望でございます。

こういう機会は滅多にありませんので、皆様からの活発な質問を期待しています。よろしく願い申し上げます。

さて、今年度はロータリー創立100周年を迎える訳ですが、日本のロータリーは会員数の減少や出席率の低下に代表されるように元気がないと云われています。100周年を境に衰退の道を歩むのか、逆に元気を取り戻すのかは現在の会員がロータリアンである喜びを外に向かって、どれだけ発信できるかに、かかっていると云っても過言でないと思うのですが、後程、その辺のところもお聞かせ願えればと思っています。

## 幹事報告

- ①本日袋の中にクラブ概況が入っております。
- ②クラブ週報は、受け付けに置いておりますのでお入用の方はお取り下さい。
- ③クラブ会員名簿のアンケートの中で携帯電話の番号は、掲載しても良い会員は、ご記入下さい。締切は7月末と致します。

前週の報告 2004年7月16日(金)

ビジター紹介

出席報告 会員95名(名誉会員1名・出席規定適用免除会員17名)

和歌山北RC・・・1名

7月16日 出席62名 ホームクラブ出席率65.96%

7月 2日 出席67名 確定出席率:88.16%

(会員94名 名誉会員1名・出席規定適用免除会員17名)

## 新入会員紹介

氏名: 傅 勝司  
 (つたえ かつじ)  
 職業分類: 農林中金  
 職業: 農林中金  
 和歌山事務所事務所長



## 委員会報告

1. ロータリー財団委員会 吉村委員長  
 長井一朗会員よりロータリー財団へのポールハリスフェローのご寄付を頂きました。
2. 米山奨学委員会 上林委員長  
 岡本昭三会員・坂口寛亘会員より米山功労者寄付、山田和毅会長より米山功労法人寄付を頂きました。

## ガバナー公式訪問講話

### 国際ロータリー第2640地区 中島治一郎ガバナー

本日は、前窪 直前ガバナーに敬意を表す為に一番最初に和歌山南ロータリークラブに公式訪問させて頂きました。思い起こせば18年前私が最初にガバナーに就任致した時も直前ガバナーが月山 先生でしたので最初の公式訪問は、和歌山南R.C.でした。今当時の事を思い出して緊張しております。



しかし、当時と比べるとロータリーも随分様変わり致しました。そのころは、R.C.の会員になる為の審査が厳しく「職業分類の適用」「テリトリー内に住所か会社が存在するか?」「地域の人に尊敬されているか?」等々ハードルが高かったと思います。胸につけたロータリーのエンブレムに今よりもっと誇りを持っていたのではないのでしょうか。米国のR.C.は日本以上に変化をしました。サイバークラブ等と言って、インターネットで例会をやった事にしてしまうクラブも出て来る有様です。「奉仕の機会を多く得られるクラブ」であれば良いとするなら、この様な発想も生まれてきます。「人造りをするクラブ」は影を潜めてしまっています。ドイツは逆に、クラブへの入会審査を厳しくしております。地域で尊敬される人物しか入会できません。職業分類も厳しく、ロータリアンは自分の職業分類の代表であると言う自信と誇りを持ち、言動に重い責任感で処していると聞いております。ドイツでは、クラブへの入会希望者がウエイティングリストの中に名を連ねて待っています。国際ロータリーの規定審議会の動向を見ていると、ここ10数年来、安きに流れ過ぎている事を強く感じます。職業分類、テリトリー、休日、等々 ルールを緩めすぎる傾向にあります。全ては、会員増強促進のためです。私はこの傾向による害の方が益よりずっと多いと考えております。救いは国際ロータリーの規定が

如何に安易な方向に流れようが、各クラブが自分のクラブの細則で厳しいルールを守れば済む事です。ドイツが良い例だと思います。自分達のクラブのルールは自分たちで確立する。自分たちにクラブの活性化は自分たちで図り、努力する。自分達の地域社会は自分たちの力で何をすべきか考え貢献する。100周年を期して、2640地区の各クラブが、このような方向で切磋琢磨するならば全体に誇れる景観を備えた当地区が、より輝いてくるに違いないと思います。「広報」に関しては私達は直ぐ「広告」を連想してしまいます。私はロータリーの「広告」は、ロータリアン一人一人が「生きた広告塔」である事を認識して行動する事が最良だと思います。ロータリアン一人一人の言動が、世の中をして「ロータリーは正直者、フェアな人達、思いやり深い人達の集まりだ。」と思っ頂ける事が最高の広報だと信じております。ご自分の地域社会を活性化する事が、どれだけクラブの存在価値を高めるかは申すまでもない事です。又、現在ほどその必要性が高まっている時代も少ないのではないのでしょうか。今年度は、各クラブがご自分のクラブの活性化をクラブ会長を中心に懸命に図られるお手伝いをさせて頂きたいと、ひたすら念じております。

~~~~~  
 [ガバナー公式訪問 謝辞]

公式訪問に際し、中島ガバナーには御多忙でお疲れのところ長時間にわたり適格なご指導を賜りましたことに対しまして、会員に代わりまして、厚く御礼と感謝を申しあげます。お陰様で実のある公式訪問にすることができました。アドバイスは決して無にすることなく、「ロータリーを祝う」ために、会員全員が友愛と寛容の心で楽しい光のあるクラブづくりをめざしたいと思っています。本日はどうも有り難うございました。

~~~~~  
 本人お誕生日の皆様です。



### ニコニコ箱

本人お誕生日祝…大山君・高橋君  
 入会記念日…窪田(惇)君  
 山田(和)君…中島ガバナーを公式訪問にお迎えして。  
 前窪君…中島ガバナー、加納ガバナー補佐、高寺代表幹事、御苦勞様です。山田会長・堤幹事頑張って下さい。  
 窪田(惇)君…傅(ツタエ)勝司(カツジ)さんを紹介させて頂いて、皆様宜しく願ひ致します。  
 窪田(惇)君…R 財団奨学生リュウ・カイリ 7/14 無事帰国しました。宮本卓彦カウンセラーご苦勞様でした。  
 野村君…中島ガバナーをお迎えして。  
 三木君…ガバナーをお迎えして。  
 上林君…米山奨学金に3名の会員よりご寄付頂いて。  
 坂口君…ゴルフ同好会7月例会に優勝有難うございます。これでやっとプレイヤーからゴルファーになります。  
 高橋君…モンゴル共和国我が旅無事帰りました。  
 堤君…ガバナー公式訪問に来て頂いて。